

## 背景

### ◇社会的損失と負のスパイラル

現代の複雑化した社会では、好むと好まざるとにかかわらず、ITはビジネスや公共組織運営のインフラです。もはや、日々のオペレーションから意思決定まで、ITなくして実行できないと言っても過言ではない状況です。ITの重要性が増す一方で、コスト負担は年々経営を圧迫する要因となってきています。しかし、現実には情報システム構築プロジェクトの失敗は一説では70%にのぼると言われ、その影響は単に一組織に留まりません。ITに関わる仕事への敬遠、技術進歩の停滞、システム構築の品質低下、失敗が生む社会損失、過剰な労働、構築リスクの増大、人材不足……という負のスパイラルに陥る要因にもなっています。

### ◇プロフェッショナル集団の必要性

かつて情報化は経営の信頼を得て、明日を託した存在でした。今後のビジネスの健全な発展、公共サービスの充実、そしてIT業界の健全な発展のための情報システム構築のあり方を考えなければなりません。プロジェクトの成功確率を高め、物事を成し遂げる充実感を持ったより多くの志ある優秀なプロフェッショナルが集まり、育ち、実践していく正のスパイラルに転換する必要があります。

## 目的

### ◇企画とマネジメントと実行力ある実務的専門家を社会へ供給

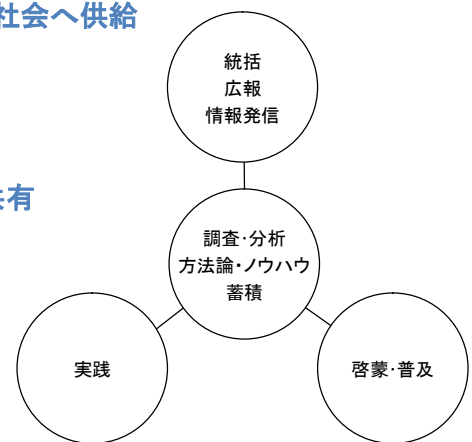
ビジネスや公共サービスの目的を達成するためにプロジェクト・オーナー側が変革を成し遂げその責務を果たせるよう、ビジネスプロセスとIT双方の構築業務のマネジメントを担い連携させる実務的専門家の集団です。

### ◇経営とITのギャップを埋める方法論・ノウハウを共有

経営者、現場（ユーザとシステム）そしてベンダのベクトルを同じ方向に向け、プロジェクトの成功を確実にするための関連する人々の役割と方法論を定義・開発します。

### ◇ネクスト社会を建築

方法論を実践し獲得したノウハウの社会的啓蒙・普及を通してわが国全体の業務生産性の飛躍的向上ならびに情報システム業界の振興・発展に寄与します。



## 活動

### ◇つぶやき集

システム構築の過程で語られる経営者からプロジェクトメンバに至るまで異なる立場の人々のつぶやき（本音）を集め、分析しプロジェクト成功のために必要な作法を出版物としてまとめたものです。

### ◇ITコスト50

費用対効果の高いシステム構築、リソース配置・ライフサイクルコストの最適化の実施テーマとしてコスト削減・リソースチェンジの方法論・診断プログラムをまとめたものです。

### ◇顧客対価アプローチ

オーナーと構築担当が良好な関係のもとにプロジェクトの進行を顧客対価の観点で行うマネジメント手法をまとめたものです。

### ◇ビジネスプロセス・アーキテクトとは

BPA-Pの全容を解説する出版物としてまとめたものです。

# ネクスト社会を建築するBPA-P

## Association for Business Process Architect Professionals

◇ロゴ◇  
銀は進歩、青は知性  
プロフェッショナル集団がビジネスプロセスアーキテクチャを支える  
◇は場  
◇はダイヤモンド 輝き、価値

### 組織

#### ◇活動の参加者

活動に共感し、方法論・ノウハウの開発・普及に率先して参画する個人及びそれに賛同し協力する法人から構成しています。ユーザ企業、コンサルティング、ベンダ、中立機関等いろいろな立場のプロフェッショナルが参画しています。

#### ◇正会員

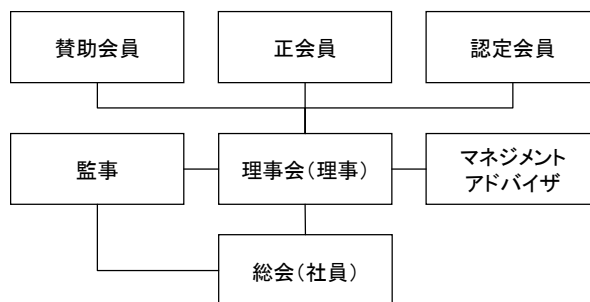
BPA-Pの目的に賛同し、別に定める倫理規定に合意して入会した個人

#### ◇認定会員

正会員の中で、規定の条件を満たし理事会の承認を得た個人  
ビジネスプロセスアーキテクトプロフェッショナルを名乗り、BPA-Pロゴを使い、本協会および実業で活動する個人

#### ◇賛助会員

目的に賛同し、事業を賛助するために入会した個人または団体



### 役員

#### ◇理事・監事

理事長	田村英二	統括、情報発信
副理事長	青木明彦	イノベーション、渉外
理事	丸山則夫	調査・分析、方法論、ノウハウ蓄積
理事	河合修三	啓蒙、普及
監事	高橋 瞳	

### 会費

#### ◇正・認定会員

入会金 3千円 年会費1万2千円

#### ◇賛助会員

入会金 10万円(1口) 年会費5万円(1口)

問合わせ先



一般社団法人ビジネスプロセス・アーキテクト協会

〒156-0044 東京都世田谷区赤堤1-33-14

電話 (03) 4283-6795

URL <https://www.bpa-p.org>

Email [info@bpa-p.org](mailto:info@bpa-p.org)